



ご紹介

レベルソ・トリビュート・ミニッツリピーター

新しいミニッツリピーターのキャリバーと芸術的な創意工夫の
驚くべき革新を称える

概要：

- ・ **新キャリバー953**：7つの特許取得発明を含む完全一体型ムーブメント
- ・ **メティエ・ラール™の卓越した技術**：自社製エナメル文字盤のギョーシェ装飾に4時間、エナメル加工に8時間
- ・ **調節可能な折りたたみ式バックル**：46個の18Kピンクゴールド製パーツ、重さ30g、0.5mmまで調整可能
- ・ **新しいノナンティエーム・コレクターズボックスの一部**：ジャガー・ルクルトの不朽の時計製造技術を讃えるコレクターズボックスに収められた、6つの複雑なレベルソのうちの1つ

ジャガー・ルクルトが、新しい自社製ムーブメント、キャリバー953で、レベルソ・トリビュート・ミニッツリピーターを一新させます。表裏両面に配された特徴的な文字盤は、複雑機構に新たな視覚的表現をもたらし、マニュファクチュールのメティエ・ラール™（希少なクラフトマンシップ）のアトリエが成しえる技を顕示しています。30本限定として登場するレベルソ・トリビュート・ミニッツリピーターは、レベルソのユニークな反転式ケースとアールデコ調のデザインが、いかにこのモデルをスタイルのアイコンとしてだけでなく、計時の機械的・美的側面の両方における革新の特別なキャンバスにしたかを明確に示しています。

ポロ競技場から高い複雑性へ - アイコンの進化

1931年に制作されたレベルソは、ファッショナブルな「スポーツ・ジェントルマン」の要望を満たすようにデザインされました。1858年から1947年までのイギリス統治時代に、インドでポロ競技に興じていた軍将校らによって、ポロ競技の過酷さに耐えられる時計を制作してほしいという要望が出されました。その答えが、デザイン性と機能性を巧みに組み合わせたレベルソでした。レベルソは、まもなく多種多様な職業のお洒落好きな人たちに愛用されるようになり、男性用および女性用の新しいバリエーションの登場によって、すぐに当初のスポーツモデルとしての用途を超えるようになりました。そのアイコン的な反転式ケース（歴史的の特許 CH159982）と特徴的なアールデコ調のラインは決して変わることはなく、レベルソは世界で最も有名な腕時計の1つとなりました。



レベルソは、スタイルと機能が巧みに融合したモデルとして誕生しました。アールデコの美学に根ざしたレベルソはまた、ジャガー・ルクルトの専門技術による機械的革新を体現しています。製造当初からレベルソのキャリバーは長方形のケースの曲線に沿うように設計されており、スペースを十分に活用することは、キャリバーの精度を最大限に高めるための画期的なアプローチでした。1931 年、レベルソは独特な長方形のケースで、高級時計における革新と評価されました。ケースの形状に合わせたキャリバーを搭載し、衝撃や湿度、経年劣化からキャリバーを保護するために専用のケースリングがセットされていました。

技術的挑戦を乗り越えたマニュファクチュールは、1990 年代初頭に再び技術的挑戦に積極的に取り組み、レベルソにハイコンプリケーションを搭載しました。そして 1994 年、レベルソ・ミニッツリピーターを発表しました。これは、ジャガー・ルクルトが腕時計用に小型化した初のミニッツリピーターであり、世界初の長方形のミニッツリピーター・ムーブメントでもありました。

ミニッツリピーターのキャリバーにおけるチャイムの伝統と絶え間ない技術革新

時計職人がマスターするのが最も困難で、最も挑戦のしがいがある複雑機構とみなされているのがミニッツリピーターです。それは単に腕時計の機能であるだけでなく、ミニチュアの楽器でもあります。時計職人にとって技術を習得するのが最も困難でありながらも、最も挑戦のしがいがある複雑機構がミニッツリピーターです。ミニッツリピーターは単に腕時計の機能であるだけでなく、小型化された楽器でもあります。1994 年に発表されたレベルソ・ミニッツリピーターでは、長方形のケースに搭載する複雑機構を一新し、画期的な進歩を遂げました。共鳴と増幅のための "サウンドボックス" のスペースが狭くなり、ゴングの形状を変える必要があったため、これは特に難しいものでした。

ジャガー・ルクルトは、チャイム機能の機械的効率だけでなく、生み出される音の明瞭さと美しさの基準を常に高めており、音質を向上させる発明で数多くの特許を取得しています。近年では、サファイアクリスタルの時計ガラスに直接取り付けすることで、よりクリーンな音と音量の増加を可能にしたことからその名が付いたクリスタルゴング（2005 年）や、トレヴェュシェハンマー（2009 年）などがあります。このハンマーは、「トレヴェュシェット」（平衡錘投石機）の動きを生み出す関節アームで設計されていて、音量を下げることなく、より少ないエネルギーでゴングを打つことができます。

（2021 年にキャリバー185 に導入された）もうひとつの重要な発明では、無音の間隔を無くすことに成功しました。古典的なソヌリキャリバーでは、15 分のチャイムがない時に、時間と分のチャイムの間に「ギャップを埋める」かのような空白の時間が生じていたのです。

ジャガー・ルクルトは、その豊かなチャイム機構の伝統を通して、複雑機構 グラン・ソヌリまで音の匠の技を押し進めてきました。グラン・ソヌリとは、複雑機構の最高峰であり、時計と同じように自動的に時・分・秒を表示する一方、ミニッツリピーターを任意に作動させることができます。

2009 年、キャリバー182 は革新の限界を押し広げ、10.4mm という驚異的な薄さのムーブメントの中



に、グラン・ソヌリを含む 26 の複雑機構、12 の特許、そして 1,400 個もの部品を収めました。この傑作は、精度、芸術性、卓越した機械機構に対するグランメゾンの飽くなき追求を体現しています。

ジャガー・ルクルトが製作したすべてのチャイムは細心の注意のもとに記録・保存されているため、時計職人たちはその正確な音色を分析し、改良することができます。この音のアーカイブによって、将来いつでも正確な修理が可能になります。このプロセスにより、各音符が絶対的に明瞭かつ調和して響き、音響的な完成度が最高水準に保たれます。ジャガー・ルクルトは、それぞれのチャイムを継続的に確認し比較することで、音の精度と卓越性への妥協を許さない姿勢を貫いています。

レベルソ・トリビュート・ミニッツリピーターの新キャリバーと斬新な美的表現

レベルソ・トリビュート・ミニッツリピーターには、他のジャガー・ルクルト製ムーブメントと同様、自社で構想、設計、製造された新開発のムーブメント、キャリバー953 が搭載されています。チャイムの品質を向上させる重要な発明である、トレビュシェ・ハンマー（特許 EP2048548A2）、クリスタル・ゴング（特許 CH698533）、サイレント・インターバルの除去（特許 CH709152B1）など、7 つの既存特許が盛り込まれています。新キャリバーのパワーリザーブは 48 時間で、ミニッツリピーターのようなエネルギーを必要とする複雑機構としては特筆すべきものです。

新しいレベルソ・トリビュート・ミニッツリピーターは、新デザインのエナメル文字盤が特徴です。どちらの文字盤も同じ時刻を表示し、洗練された装飾が施されていますが、それぞれに異なる個性を呈しています。フロントダイヤルは、手作業でギョーシェ彫りを施したバーレイシードパターンが輝きを放ち、さまざまな角度から光を受けると、目の錯覚でそのパターンが動いているかのように見えます。ギョーシェ彫りには、新色のティールブルーのグラン・フー・エナメルが何層にも重ねられています。ギョーシェ彫りとエナメル加工は、ジャガー・ルクルトのメティエ・ラール™工房で行われ、ギョーシェ彫りには 4 時間、エナメル加工にはさらに 8 時間を要します。

文字盤の裏側にはオープンワークが施され、リピーター機構の複雑さを垣間見ることができ、作動させると、可動部品が魅惑的な様相を呈します。ミニッツトラックから一端のみが固定されているファセット付きインデックスによって、視覚的な奥行きと透明感が強調され、まるで機構の上に浮かんでいるような印象を与えます。ブリッジには手作業で面取りが施され、装飾仕上げにはサテン仕上げとグレイン仕上げが組み合わされています。また、メタルのクールなシルバーの色調が、ケースの温かみのある 18K ピンクゴールドとコントラストを形成しています。7 時位置から 5 時位置までムーブメントの全幅に渡ってハンマーを支えるブリッジは、フロントダイヤルと同じブルーラッカーで装飾されています。

ウォッチケースの側面に取り付けられたチャイムを作動させるスライダーは、人間工学的なデザインを犠牲にすることなく、新しいレベルソ・トリビュート・ミニッツリピーターが可能な限り目立たなくなるよう特別に設計されています。



レベルソ・トリビュート・ミニッツリピーターのタイムレスな美しさを引き立てるピンクゴールドのケースと、スモールスケールのアリゲーターで裏打ちされたブラックのアリゲーターストラップのコントラスト、そして調節可能なフォールディングクラスプ。約 30 グラムのピンクゴールド製のバックルは、0.5 ミリ単位での微調整が可能なダブルホイール機構を備えています。46 個の部品から構成されたその機構には、人間工学に基づいた革新性に時代を超越したエレガンスがプラスされています。

ジャガー・ルクルトの一体統合型マニュファクチュールに集結された 180 種類の技術を証明するレベルソ・トリビュート・ミニッツリピーターは、レベルソデザインの多様性と永遠のモダンさを称え、計時の機械的側面と美的側面の両方において革新を追求し続けるラ・グラン・メゾンの姿勢を際立たせています。

ノナンティエム コレクターズボックス

レベルソ・トリビュート・ミニッツリピーターの限定モデルの発表とともに、ジャガー・ルクルトは、アイコニックなレベルソの誕生 90 周年を記念する特別なコレクターズボックスを発表します。丁寧に仕上げられたケースは、レベルソの 6 つの限定モデルを収納するためにデザインされ、いずれのモデルも技術革新と芸術性の頂点を体現しています。

1991 年にレベルソの誕生 60 周年を記念して作られたコレクターズボックスからインスピレーションを得たこの新しいボックスは、洗練されたコレクターに時計の歴史に残るアイテムを所有するという特別な機会を提供します。ボックスの 6 つに区切られた各コンパートメントは、独特なレベルソモデル専用であり、タイムピースの不朽の伝統と有名な複雑機構の進化を披露します。ボックス自体が、ラグジュアリー、機能性、そして時代を超越した美しさが融合した、卓越した職人技に取り組むジャガー・ルクルトの姿勢の証です。

技術仕様

レベルソ・トリビュート・ミニッツリピーター

ケース：18K ピンクゴールド

サイズ：51.1×31mm、厚さ 12.6mm

キャリバー：手巻ジャガー・ルクルト製キャリバー953

機能：2 つのダイヤルに時と分、ミニッツリピーター

パワーリザーブ：48 時間

表ダイヤル：ティールブルーのエナメル加工ギョーシェ彫り

裏ダイヤル：オープンワーク

防水性：3 気圧

ストラップ：ブラックアリゲーターストラップ、小さな鱗模様入りアリゲーターのライニング



バックル：調節可能な折りたたみ式バックル

リファレンス：Q7122480

30 本限定モデル

レベルソについて

1931 年、ジャガー・ルクルトは、20 世紀のデザインのクラシックとなるタイムピース、レベルソを発表しました。ポロの激しい試合にも耐えられるように作られており、すっきりとしたアールデコ調のラインと特徴的な反転式ケースを備えたこの時計は、瞬時に識別することができます。誕生から 90 年間、レベルソはアイデンティティに妥協することなく自らの存在を常に変化させてきました。79 種類以上のキャリバーに加え、39 件の特許を取得。何も描かれていないメタルの裏面はクリエイティブな表現のためのキャンバスとなり、エナメル、エングレービング、ジェムストーンなどで装飾が施されました。レベルソ誕生から 90 年以上経った今日でも、変わることなく、その誕生にインスピレーションを与えた現代の精神を象徴し続けています。

ジャガー・ルクルト - ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™

1833 年以来、ジャガー・ルクルトは、革新性と創造性への抑えきれない渴望に導かれ、故郷ジュウ溪谷の平穏な自然環境からインスピレーションを得て、複雑機構への熟練した技術とその精度で際立った存在となっています。ウォッチメーカーの中のウォッチメーカー™として知られるマニュファクチュールは、1,400 を超えるキャリバーの制作と 430 以上の特許を通して、その絶え間ない革新の精神を表現してきました。ジャガー・ルクルトの時計職人たちは、190 年以上にわたる蓄積された専門知識を駆使して、最先端の精密なメカニズムの設計、製造、仕上げ、装飾を行い、何世紀にもわたるノウハウと情熱を融合させ、過去と未来をつないでいます。時代を超え、常に時と共にあります。180 種類もの専門技術がひとつ屋根の下に集結したマニュファクチュールは、その技巧に、デザインの美しさと独特で控え目な洗練とを組み合わせ、高級時計に息吹を吹き込んでいます。

jaeger-lecoultre.com